

通番	日付	場所	当日のご意見及びご質問(要約)	本市の回答(要約)
13	11/14(日)	春木市民センター	現在の保育所・幼稚園の在園児は約2,000名。再編によって全ての在園児が希望するところに入園することはできるか。近くの幼稚園がなくなることによって通園が困難になる。	基本的には岸和田市全体の保育量を拡大しながら、閉園していくという考え方です。施設数が減少するので場所によっては、今よりも遠くなったりすることもあります。
14	11/14(日)	春木市民センター	待機児童解消のために大規模園となる。コロナ禍で如何なものか。反対である。	幼稚園及び保育所を再編するので、一定施設の規模は大きくなります。試算では、地域特性はありますが、150人程度と考えています。なお一番新しい市立桜台保育所は定員150名なので、本市でも実績はあります。なお全国的に見ても、120人以上の規模が約半数、150人以上の規模が3割程度となっています。今後コロナウイルス感染症の影響で、厚生労働省・文部科学省等から施設規模について通達、指導等があれば考えていかなければならないと考えています。
15	11/14(日)	春木市民センター	10年間で、保育所・幼稚園を無くすことに反対。民間にも保育所・幼稚園・こども園があるように、市立でも保育所・幼稚園を残し、こども園も作って欲しい。公立を保護者が選択できるようにして欲しい。	今回の再編方針では、全ての市立幼稚園及び保育所を、両方の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園へ再編していくという考えです。保育所・幼稚園・こども園を選べるようにとのご意見ですが、保育所・幼稚園を残した上で、選択肢の一つとして、公立認定こども園を作っていくことについては仕方がないというご意見であると受け止めさせていただきます。
16	11/14(日)	春木市民センター	市民説明会について申込制はおかしい。	広報、ホームページ、各幼稚園・保育所には周知をさせていただきました。前回の市民説明会では、定員以上の方が来場いただき、参加できない市民の方も居られたことがあったので、今回は事前申込制にさせていただきました。定員の範囲内であれば、当日でも参加していただけるようにいたします。
17	11/14(日)	春木市民センター	幼稚園・保育所で何名の障害児保育をされているのか。市立として責任を持って障害児保育をして欲しい。	平成31年度は市立保育所・民営化園では159名、市立幼稚園は143名です。市立施設・民営化園では、この人数を受け切れない状態になっており、障害児支援の枠も順番待ちの状態となっています。そういったことから、民営化園以外の民間園でも障害を持つお子様を受け入れる体制を整備していただくための補助制度を、令和3年度より創設しました。ただし、経験を積み、学んでいただく過程が一定必要になりますので、時間が必要と考えていますし、また受入れの経験が無いことでハードルもあると考えています。今後も民間園・関係課と綿密に連携を取り、進めていく予定です。
18	11/14(日)	春木市民センター	岸和田市はアルバイト保育士の条件が悪い。保育士の就労条件を改善し、雇用を増やし、定員を増やすことで待機児童を減らすつもりか。それとも認定こども園が完成するまで放っておくつもりか。	アルバイト保育士は募集しても応募がなく、困っているのが実態です。条件面が非常に重要と考えており、現在、内部で改善に向け協議している最中ですが、実現には市議会の議決が必要になってきます。現時点では、お示しすることはできませんが、魅力のある条件にしていきたいと思っています。また正職員の採用につきましても、担当部局にお願いしているところです。保育士の確保も激戦になりますので、周知方法も含め、分かりやすくアピールをしていきたいと思っています。
19	11/14(日)	春木市民センター	新しく民間認定こども園を誘致する際は、プレゼンテーションを行うと言われていたが、徳松池・コロベ池埋立地に開園する認定こども園の事業者選考には応募がたくさんあり、選定に困ったということはないか。	3事業者の応募があり、1事業者を決定しました。